

※給油取扱所の専用タンクも、この様式を使用します。

様式第4のへ（第4条、第5条関係）

簡易タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		1 農機具への給油, 小分け販売			
2 専用室の構造	壁	延焼のおそれのある外壁	RC造 (耐火構造)	床	コンクリート造
		その他の壁	RC造 (耐火構造)	屋根	RC造 (耐火構造)
	出入口	防火設備 (しきい高さ 20 cm)		その他	床面積20 m ²
3 タンクの構造、設備	形状	横置円筒型	寸法	同長 〇〇〇mm 内径 〇〇〇mm 鏡出 〇〇〇mm 全長 〇〇〇mm	
	容量	600ℓ	材質、板厚	材質SS400 板厚3.2mm	
	通気管	内径25mm	給油、注油設備	固定給油設備	
タンクの固定方法		4 車止め			
採光、照明設備		5 電灯 (安全増防爆構造) 1 基			
換気、排気の設備		6 自動強制排出設備 1 基			
消火設備		7 第5種消火設備 (〇〇消火器10 型) 1 個			
工事請負者住所氏名		8 〇〇県〇〇市〇〇町〇番地 株式会社〇〇工業 支店長 〇〇 〇〇電話〇〇〇 - 〇〇〇-〇〇〇〇			

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

[構造明細書記入要領]

各欄の該当しない部分は、「/」、「—」、「なし」等を記入し、該当する部分がないことを明確にする。

1 事業の概要は、貯蔵所が設置されている事業所の事業内容、貯蔵目的等を記入する。

(例) 農機具用燃料の小分け販売

2 専用室の構造は、貯蔵所が専用室内に設置される場合にのみ記入する。

なお、その他の欄は専用室の建築面積（小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記載。）を記入する。

3 タンクの構造、設備は、次の項目を記入する。

- ・ 形状は、縦置円筒型、横置円筒型、角型、楕円型等を記入する。
- ・ 寸法は、横置円筒型は内径、胴長、鏡出及び全長、角型は縦、横、高さ、楕円型は長さ、幅、高さ、異形型は最大幅等特徴的な部分の長さ
- ・ 容量は、危政令第5条第2項に規定するタンクの容量を記入する。
- ・ 材質、板厚は、タンクのそれぞれの部分の材質及び板厚を記入する。
なお、材質は、J I S規格記号又は材料記号を記入することもできる。
- ・ 通気管は、タンクに設置される通気管の種別、内径を記入する。
なお、大気弁付通気管の場合は、作動圧についても記入する。
- ・ 給油設備、注油設備は、取り付けられている給油設備等について記入する。

4 タンクの固定方法は、車止め、鎖止め等固定方法を記入する。

5 採光、照明の設備は、タンクが専用室に設置される場合に、その設置される採光及び照明の種類、設置個数を記入する。

6 換気、排出の設備は、タンクが専用室に設置される場合に、その設置される換気、排出の設備ごとに、種別（自然、強制、自動強制）、設備種類、設置台数等を記入する。

7 消火設備は、製造所等に設置される消火設備について、危政令別表第5に規定する区分、設備名、設置数等を記入する。

(例) 第5種消火設備（〇〇消火器10型）2個

8 工事請負者住所氏名は、工事請負者の住所、氏名（法人は、主たる事業所の所在地、法人名及び担当者名）及び連絡先の電話番号を記入する。